

# 令和元(2019)年度 事業報告書

自 平成31年4月1日

至 令和2年3月31日

一般財団法人 高度映像情報センター

( A V C C )

---

## 目次

<b>I はじめに</b>	<b>3</b>
<b>II 霞が関ナレッジスクエア(KK2)事業</b>	<b>5</b>
<b>(1) 概況</b>	<b>5</b>
-1 自主プログラムと延べ参加者数	6
-2 メンバー数およびWeb会員数	7
-3 施設貸出サービス	8
<b>(2) 産学官連携事業「教育のデジタル化」</b>	<b>9</b>
-1 「教育のデジタル化研究会」	9
-2 霞が関オープンランチミーティング	11
-3 協賛メンバー/事業協力団体との連携事業の開催	11
-4 KK <sup>2</sup> デジタルプレゼンテーションプラットフォーム (DPP)	11
-5 協賛メンバー様専用ページの提供 (協賛メンバーページ)	12
-6 KK <sup>2</sup> ラーニングマネジメントシステム (LMS) の提供	13
-7 介護人材の教育訓練に資する自己学習環境の創出	13
-8 日本語を母国語としない方向け自己学習プログラム「しごとのにほんご」の提供	13
<b>(3) AI社会を生きる力を考える</b>	<b>15</b>
-1 AVCC & KK <sup>2</sup> 事業説明会	15
-2 AVCC & KK <sup>2</sup> 特別講演会	15
-3 気仙とKK <sup>2</sup> のコミュニティ活動の交流「デジタル公民館けせん～けせんの魅力を世界へ～」活動 (岩手県「令和元年度被災者の参画による心の復興事業」採択事業)	16
-4 行政に頼らない「むら」おこし、「やねだん」(鹿屋市串良町柳谷集落) Webサイトおよびメールリスト運営	18
<b>(4) 個人のレジリエンスを学ぶ</b>	<b>19</b>
-1 霞が関坐禅会～自分自身と向き合ってみよう～	19
-2 タフな心の育て方	19
-3 KK <sup>2</sup> キャリア相談室	20
-4 レジリエンスを鍛えるプログラムのコーディネート業務	21
-5 大規模災害時における帰宅困難者等受入に関する協定	21
-6 誰もが輝いて働ける場に！交流カフェ「エキスパート倶楽部」ランチ・カフェ運営	21
<b>(5) 組織・地域を担うしごと力を学ぶ</b>	<b>23</b>
-1 社会で活躍する人のしごと力を学ぶ「エキスパート・スタジオ」	23
-2 しごと力道場 ～コミュニケーション力を高める対話型ワークショップ～	24
-3 しごと力向上ライブラリ	24
-4 コンピテンシー・チェック	26
<b>(6) 文化に親しみ交流する</b>	<b>27</b>
-1 食と文化講座	27
-2 霞が関寄席	27

-3 「霞が関音楽祭」への協力	28
-4 江戸TOKYO散歩～広重「名所江戸百景」と東京の今～	29
<b>(7) KK<sup>2</sup>事業運用関連</b>	<b>30</b>
-1 会議・委員会等の開催	30
①KK <sup>2</sup> 運営委員会の開催	30
② KK <sup>2</sup> 定例会開催	31
-2 メルマガ「メッセージ from KK <sup>2</sup> 」発行	31
-3 情報発信	33
① Web、SNS	33
②文部科学省メルマガ「マナビィ・メルマガ」での定期的な記事掲載	33
<b>Ⅲ コンサルティング事業</b>	<b>34</b>
(1) システムコンサルティング業務	34
-1 コミュニケーションシステムコンサルティング	34
-2 防災情報システムコンサルティング	34
-3 システム最適化コンサルティング	34
-4 地域情報化計画策定コンサルティング	35
(2) ネットワークコンサルティング業務	35
-1 海底ケーブル敷設コンサルティング	35
-2 FTTH網構築コンサルティング	36
-3 市町村防災情報ネットワークコンサルティング	36
(3) 防災無線設備劣化度調査	38
(4) 情報セキュリティコンサルティング業務（監査等）	38
(5) ISMS認証取得支援コンサルティング業務	38
(6) プライバシーマーク認定審査業務	39
(7) TV会議システム運用業務	39
(8) 映像システムコンサルティング業務	39
-1 市民劇場舞台運営・防犯用カメラ設備設計業務	39
-2 検索システム設計業務	40
-3 大学内映像装置設計業務	40
-4 デジタルサイネージシステム設計・施工業務	40
(9) 映像システム保守管理業務	40
① 千葉県松戸市文化会館映像配信システム	40
<b>Ⅵ 運営に関する事項</b>	<b>42</b>
(1) 役員等名簿	42
(2) 会議等の開催	42
-1 第1回理事会（通常）	42
-2 第1回運営委員会（定例）	42
-3 第1回評議員会（定時）	43
-4 第2回運営委員会（定例）	43
-5 第2回理事会（通常）	43
(3) 会員等（令和2年3月）	43

## I はじめに

2019年度 一般財団法人高度映像情報センター(AVCC)は、『**大きな変化の時代に柔軟かつ自律して行動できるレジリエンス人材の育成**』を事業計画に掲げ、「想定を超え」いかなる事態でも柔軟かつ自律して行動できる「レジリエンス人材」を育むことを喫緊の課題として活動してきました。



### (1) COVID-19と人間の調和

レジリエンス人材育成の成果を確認する時を待たず今、世界は『**COVID-19によるパンデミック**』の真っ只中に置かれ、**withコロナ**（COVID-19と人間の調和）時代へ向けた様々な取り組みが始まっていますが、これからが本番です。引き続き**Face to Face**の接触を減らす努力が必要です。私たちが一致団結して正しい行動を粘り強く続ければ、ウイルスとの共存が可能となります。

### (2) Society 5.0社会を具体的に進めよう

**Face to Face**を避けるという目的で、非常事態宣言下では感染者数ゼロの岩手県でも人が集まるコミュニティ活動がすべて中止され延期されています。霞が関ナレッジスクエア（KK<sup>2</sup>）が提唱してきたデジタル公民館活動は、リアルな地域でサイバー空間も活かし、何時でも、何処でも、誰でも学び交流できる地域を目指す活動ですが、懸念していた**スマホの壁**（デジタルデバイド）が国民の間に顕著に立ち上がり、**Face to Face**から**On Line**へという流れに乗れない、置き去りになる人が多々見られるのは看過できません。「世界最先端デジタル国家宣言」や「

Society5.0社会」を勇ましく唱えても、PC/スマホを使えない国民が多数存在し、マイナンバーカードの保有率が20%にも満たない現状では、それは絵にかいた餅に過ぎません。若者とお爺さんお婆さんがスマホで交流し共に学ぶ社会、健康保険証も社員証も預金通帳も連携するマイナンバーカードを全員が保有する社会を早く作りましょう！

(3) (初動やWHO問題は別として) 中国国民に見習うべきこと

中国の都市部では日本でいうマイナンバーを2002~2003年くらいに全員に導入し、ほぼ100%に近い人がスマホを持っているそうです。貧者がQRコードをかざして寄付を乞う姿も行われています。湖北省出身の中国の方に「[コロナ感染拡大で生まれた絆、新しい中国での福祉的手助けの形](#)」(動画公開中)というお話を伺いましたが、ICTがきちんと社会の中で定着普及しており、健康保険、介護保険、薬事等が連携し個人の健康活動がオンラインで出来るようです。武漢には、中国最高レベルの医療チーム11,000人余りの医療従事者が派遣されCOVID-19感染拡大封鎖にあたったようです。また湖北省の16市には、中国内16省が支援に入る「一省対一市」方式がとられ、地域が連帯して取り組んだようです。また、生きにくさを抱える人を支援するボランティアも活発に活動し、自閉症児への一対一のオンライントレーニング等も盛んに行われたとのことでした。「誰も置き去りにしない」この取り組みを私たちの各地域も見習わなければなりません。

(4) COVID-19が教えてくれた「働き方改革」

「働き方改革」が叫ばれていますが、職場が19時で消灯しそれ以降仕事が出来なくなり、始業時間を自主的に9時から7時に繰り上げ捌ききれない仕事を何とかこなしている、こういった実態も漏れ聞こえてきます。お役所も多くの企業も「紙と判子」をデジタル化することに取り組んで来ませんでした。COVID-19禍で在宅勤務を余儀なくされると、勤務でなく**自宅待機**とならざるを得なかった、これが残念ですが現状です。会社に行くこと=仕事、と考えていた人も多くいるようです。業務によって、在宅でできる業務、在宅でできない業務がはっきりしました。一方で働く人によって、在宅でできる人、在宅でできない人もはっきりしました。COVID-19は、在宅勤務はオフィスにいる時より効率良く仕事できること、その分疲れますが、これからの仕事のやり方として定着することを教えてくれました。ひとり一人がCOVID-19と共存する「働き方改革」を進めなければなりません。

正しい行動を粘り強く続ければ、COVID-19との共存が可能となります。自分を、周りの大切な人を、そして社会を守りましょう！以下に各事業を具体的に報告します。

## Ⅱ 霞が関ナレッジスクエア(KK<sup>2</sup>)事業

### (1) 概況

AVCCの公益目的事業であるKK<sup>2</sup>事業は、社会教育プログラムおよびプラットフォームの提供を目的とし、「共に考え、共に学び、共に担う社会へ」をミッションに掲げ「デジタル公民館」活動を推進しています。

令和元年度で開設11年目を迎え、「教育のデジタル化」の推進を図り、いつでもどこでも誰もが学び交流できる環境を整えることを目指し活動しています。

具体的なプログラムの内容としては、AVCCの令和元年度 事業テーマである『大きな変化の時代に柔軟かつ自律して行動できるレジリエンス人材の育成』に基づき、

(1) 「AI社会を生きる力を考える」

(2) 「個人のレジリエンスを学ぶ」

(3) 「組織・地域を担うしごと力を学ぶ」

(4) 「文化に親しみ交流する」を加えた4つの柱に新しく整理し、進めてまいりました。

- 1 自主プログラムと延べ参加者数

令和元年度は、162プログラムを実施しました。延べ参加者数は、参加者が1,689名、ライブ配信での受講者が172名。また、Webページ訪問による学習者数は23,727名。合計延べ25,588名の方に参加・学習していただきました。

自主プログラムと延べ参加者数

プログラム内容	実施回数 および コンテンツ数	参加者合計	属性内訳			ライブ配信 参加者合計	Webページ 訪問者合計	Web訪問者内訳			合計
			メンバー	Web会員	一般			PC	タブレット	スマホ	
AI社会を生きる力を考える											
AVCC&KK2事業説明会/特別講演会	2	156名	135名	21名	0名	60名	2,294名	1,561名	69名	664名	2,510名
デジタル公民館げせん活動	18	434名	0名	0名	434名	475名	475名	253名	15名	207名	909名
個人の「レジリエンス」を学ぶ											
霧が関坐禅会	3	57名	30名	27名	0名	1,699名	1,699名	988名	41名	672名	1,756名
タフな心の育て方	3	75名	69名	6名	0名	1,946名	1,946名	1,272名	59名	615名	2,021名
KK <sup>2</sup> キャリア相談室	28	28名	2名	26名	0名	1,631名	1,631名	749名	46名	836名	1,659名
組織・地域を担うしごと力を学ぶ											
エキスパート・スタジオ	3	63名	48名	15名	0名	81名	3,339名	1,574名	111名	1,654名	3,483名
しごとカ道場	3	22名	8名	14名	0名	958名	958名	630名	38名	290名	980名
しごとカ向上ライブ러리	7	5,546名	5,546名	0名	0名	5,546名	5,546名	3,001名	256名	2,289名	5,546名
文化に親しみ交流する											
食と文化講座	3	54名	12名	16名	26名	1,416名	1,416名	760名	44名	612名	1,470名
霧が関寄席	6	396名	181名	215名	0名	1,906名	1,906名	1,109名	68名	729名	2,302名
「霧が関音楽祭」への協力	2	40名	0名	0名	40名	494名	494名	318名	8名	168名	534名
音楽・文化活動への支援	1	60名	0名	0名	60名	60名	60名	0名	0名	0名	60名
江戸TOKYO散歩	65	867名	867名	0名	0名	867名	867名	867名	0名	0名	867名
産学官連携支援事業/教育のデジタル化											
霧が関オープンランテミーティング	11	136名	136名	0名	0名	136名	136名	0名	0名	0名	136名
教育のデジタル化研究会	7	168名	158名	10名	0名	31名	1,156名	886名	9名	261名	1,355名
<b>合計</b>	<b>162</b>	<b>1,689名</b>	<b>643名</b>	<b>486名</b>	<b>560名</b>	<b>172名</b>	<b>23,727名</b>	<b>13,966名</b>	<b>764名</b>	<b>8,997名</b>	<b>25,588名</b>

- 2 メンバー数およびWeb会員数

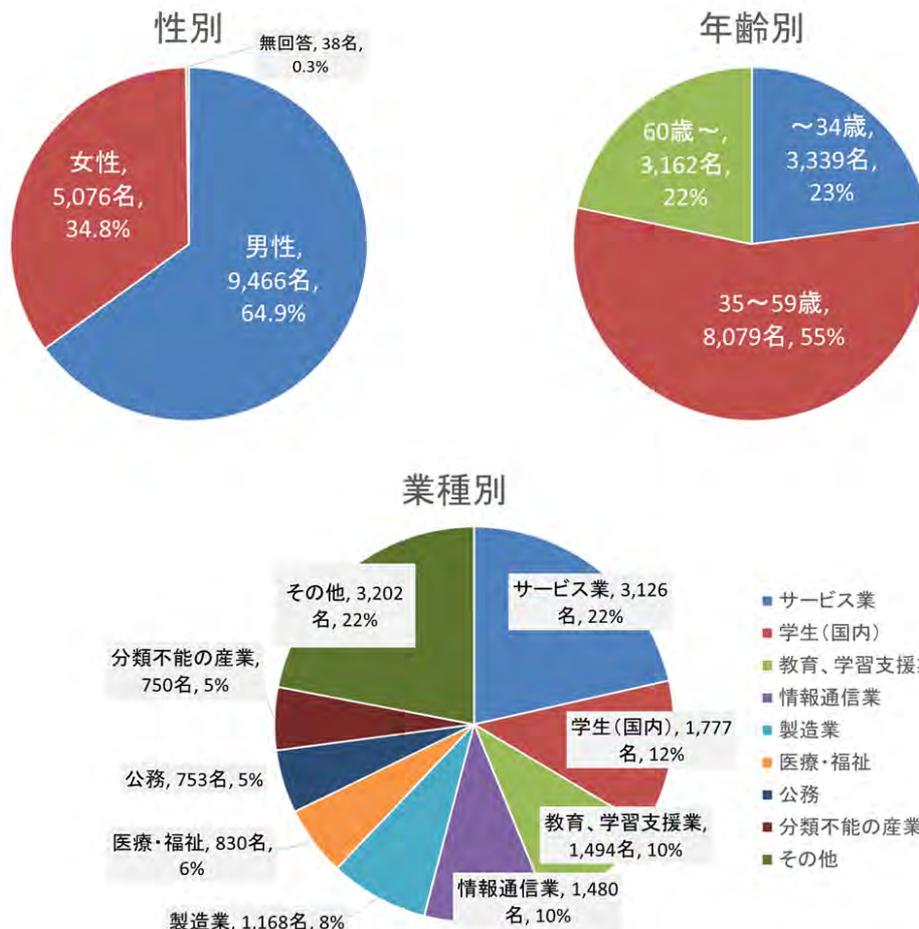
令和元年度の協賛・法人メンバー数は、新規入会1団体、退会2団体で29団体となりました（昨年度より3団体減）。KK<sup>2</sup>事業は、主にメンバー会費と施設貸出費の2つが大きな収入源となっています。魅力ある提案や事業活動を推進し、さらなるメンバー加入の促進を図る必要があります。

メンバー種別	メンバーの種類	年会費
協賛メンバー	民間企業・各種団体	一口120,000円/年、一口以上
	NPO法人	一口60,000円/年、一口以上
	大学・専門学校	一口60,000円/年、一口以上
一般法人メンバー		一口120,000円/年、一口以上
Web会員		無料(登録制)

(税別)

メンバー数	協賛メンバー			法人メンバー	Web会員
	民間企業・各種団体	NPO法人	大学・専門学校		
令和元(2019)年度	29	22	2	5	4 14,580
平成30(2018)年度	31	23	3	5	4 13,526

Web会員数は、前年度に比べ1,054名増加し14,580名となっております。属性の内訳は以下のとおりです。



### -3 施設貸出サービス

令和元年度は、スタジオ142回、ラウンジ105回、エキスパート倶楽部50回の施設貸出を行い、延べ17,800名の方にご利用いただきました。

施設貸出については、現状の空室率（5-6割）を下げ貸出率を上げる必要があります。他の貸施設との差別化できる点として、デジタルプレゼンテーションプラットフォーム（DPP）、ライブ配信機能、TV会議システム、収録サービスといったKK<sup>2</sup>施設の魅力について更なるPRが必要です。

なお、交流カフェ「エキスパート倶楽部」は、平成30年度よりランチ・カフェ運営を「だれもが、生きやすい社会をつくりたい」をミッションに掲げ活動している社会福祉法人むそう様（事業協力契約締結）と協力し、障害のある方たちの働く場所として、新たな役割を担っています。15時以降は、学びと交流のコミュニティスペースとして、従来通り施設貸出のご利用を進めています。

#### 施設利用状況

	スタジオ				ラウンジ		エキスパート倶楽部				KK <sup>2</sup> 施設 利用者数 合計
	利用者数計	KK <sup>2</sup> 主催事業 参加者	レンタル スペース/ パーティ 利用者	貸出回数	レンタル スペース 利用者	貸出回数	利用者数計	ランチ利用者	レンタル スペース/ パーティ 利用者	貸出回数	
2019年度	<b>7,404名</b>	1,689名	5,715名	142回	<b>1,626名</b>	105回	<b>8,770名</b>	7,420名	1,350名	50回	<b>17,800名</b>
2018年度	<b>9,904名</b>	1,808名	8,096名	145回	<b>3,344名</b>	89回	<b>10,215名</b>	7,497名	2,718名	96回	<b>23,463名</b>

※協賛プログラム参加者、カウンセリングプログラムは、KK<sup>2</sup>主催事業に含む

## (2) 産学官連携事業「教育のデジタル化」

KK<sup>2</sup>は教育の「質の向上」を目指し「教育のデジタル化」を推進しています。教育の場で得られたデータを評価し、双方向（Two-Way）の教育を実現することで、教育の質を高め講師の教授力向上を目指します。

### -1 「教育のデジタル化研究会」

「教育のデジタル化」をテーマに、様々な視点から、教育の質の向上を実現するための検討を行う研究会です。令和元年度より定期的で開催し、KK<sup>2</sup>デジタルプレゼンテーションプラットフォーム（DPP）の活用・推進をめざし、実践事例の共有など議論を深めています。知財教育や情報教育、福祉分野など様々な教育の場、情報共有の場での試行を進めています。



令和元年度は7回開催し、会場参加者数は168名、ライブ配信、Webページ訪問者を含めると1,355名となっています。

なお、3月30日（月）に第8回「教育のデジタル化研究会～2019年度の活動報告～」を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため令和2年4月13日（月）オンラインでの開催に延期しました。

座長：永岡慶三氏(AVCC理事・早稲田大学名誉教授、メディア教育開発センター名誉教授)

参加対象：AVCC賛助会、相互協力協定締結団体、KK<sup>2</sup>協賛メンバー、

KK<sup>2</sup>アドバイザーメンバー、AVCC理事・評議員

事務局：株式会社メディアリンク ネットワークサービス部

相吉 透 / 浦田 智宏 / 福島 英

日程	テーマ・発表者
第1回 5月 27日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ DPPの概要説明/DPPの体験</li> <li>・ 講義「DPP(レスポンス・アナライザー) 利用による、学びの質の向上」講師：永岡慶三氏（座長）</li> </ul>
第2回 6月 24日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回のアンケート結果報告（事務局）</li> <li>・ DPPの実践</li> </ul>
第3回 7月 31日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ DPP活用事例発表「知的財産論」 講師：黒瀬泰之氏（そらおと国際特許事務所 代表弁理士）</li> <li>・ DPP追加機能の説明（事務局）</li> </ul>

第4回 9月30日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「DPPの課題と今後の方向性」(事務局)</li> <li>「DPP開発の理念構築 -理念: "Two Way or Go Away" (双方向にあらざれば去れ)-」 講師: 永岡慶三氏(座長)</li> </ul>
第5回 11月25日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「DPP試用報告」 講師: 渡辺 保氏(社会福祉法人スマイリング・パーク)</li> <li>「DPPを使用してみよう」 講師: 加藤 木綿美氏 (二松学舎大学 国際政治経済学部国際経営学科専任講師)</li> </ul>
第6回 12月23日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「動画+設問 two-way講座「行動力」を身につけよう! の報告」久保田 了司(AVCC理事長 KK<sup>2</sup>代表)</li> </ul>
第7回 2月25日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>TwoWay学習についてデモを交えた説明</li> <li>一年間の活動報告と今後について(事務局)</li> </ul>

教育のデジタル化研究会	開催日	参加者合計	属性内訳			ライブ配信 参加者 合計	Webページ 訪問者 合計	Web訪問者内訳			合計	オンデマンド レビュー (5段階評価)
			メンバー	Web会員	一般			PC	タブレット	スマホ		
第1回 教育のデジタル化研究会	2019/5/27(月)	21名	21名	0名	0名	3名	189名	152名	0名	37名	213名	4.6
第2回 教育のデジタル化研究会	2019/6/24(月)	24名	23名	1名	0名	5名	85名	62名	0名	23名	114名	-
第3回 教育のデジタル化研究会	2019/7/31(水)	28名	26名	2名	0名	4名	183名	144名	2名	37名	215名	4.3
第4回 教育のデジタル化研究会	2019/9/30(月)	23名	22名	1名	0名	5名	246名	185名	2名	59名	274名	4.4
第5回 教育のデジタル化研究会	2019/11/25(月)	25名	23名	2名	0名	3名	183名	150名	0名	33名	211名	4.6
第6回 教育のデジタル化研究会	2019/12/23(月)	24名	21名	3名	0名	5名	191名	128名	2名	61名	220名	4.8
第7回 教育のデジタル化研究会	2020/2/25(火)	23名	22名	1名	0名	6名	79名	65名	3名	11名	108名	-
	合計	168名	158名	10名	0名	31名	1156名	888名	9名	261名	1355名	

#### 主な参加者(敬称略・順不同)

伊庭野基明(KK<sup>2</sup>グローバルキャリアカウンセラー)

伊藤健二(KK<sup>2</sup>産学官連携主席研究員/明治学院大学 特別学長補佐・戦略担当)

田中純一(AVCC理事/一般社団法人ビル減災研究所代表理事・所長)

秋田義一(社団法人話力総合研究所 理事長)

横谷和沙(社団法人話力総合研究所 理事)

大西周(情報処理安全確保支援士)

須貝賀津雄(コスモシステム株式会社)

黒瀬泰之(そらおと国際特許事務所 代表弁理士)

渡辺保(社会福祉法人スマイリング・パーク)

津田伸介(防災及びシステムコンサルタント)

垣内啓江

(株式会社ケイ・シー・ブライトン代表/KK<sup>2</sup>キャリア相談室カウンセラー)

山口久美

(有限会社SNOW DREAM 取締役、NPO法人ふわり・ケアコンサルタント)

豊岡俊彦(株式会社ルート・アンド・パートナーズ/元 財務省)

## -2 霞が関オープンランチミーティング

2011年1月よりスタートした中央省庁の若手官僚、NPO リーダー、企業のCSR関係者等による「霞が関オープンランチミーティング」（月1回開催）は、2011年の東日本大震災をきっかけに被災地の復興を支援する官民のインフォーマルな情報交換の場となり、現在は参加メンバーの活動を共有し、地方創生に向けた連携協働を進めています。令和元年度は、11回開催し、参加者数は136名でした。

## -3 協賛メンバー/事業協力団体との連携事業の開催

KK<sup>2</sup>では、協賛メンバーや事業協力団体との連携事業を行い、多様な学びのテーマ・機会の提供を進めています。令和元年度は、協賛メンバーである全日本空輸株式会社様のご協力により「ANAの破壊的イノベーション『未来のエアライン』に学ぶ」を12月11日（水）に開催いたしました。（詳細は後述「（3）AI社会を生きる力を考える -2 AVCC&KK<sup>2</sup> 特別講演会」を御覧ください。）

## -4 KK<sup>2</sup>デジタルプレゼンテーションプラットフォーム（DPP）

（アナライザ ※1 Response Analyzer）

特許番号：第6507328号、第6582262号

KK<sup>2</sup>プログラムは、KK<sup>2</sup>デジタルプレゼンテーションプラットフォームにより提供しています。「リアル研修（KK<sup>2</sup>スタジオorセミナー会場）」「ライブ学習」「オンデマンド学習」の三つの学習形態、「リアル=同時同所」「ライブ=同時異所」「オンデマンド=異時異所」での、アナライザ（Response Analyzer）を活かした対話型の学びが特長です。「リアル研修」の学習者と遠隔地で学ぶ学習者（「ライブ学習」「オンデマンド学習」）は、スマホもしくはパソコンからKK<sup>2</sup>Webサイトにログインし、講師と全学習者が同じプラットフォーム上でアナライザ（Response Analyzer）でコミュニケーションします。

具体的には、

- ・講師からの設問に対する学習者の回答を集計（リアルタイム分析表示）し表示できる
- ・学習者はいつでも講師へ質問できる
- ・テスト・アンケートをリアルタイムに集計できる
- ・プログラムに対する評価（☆☆☆☆☆とレビュー）ができる
- ・ポートフォリオを記録する「マイページ」機能がある

など、学習者をインスパイアするプレゼンテーションシステムとなっています。

講師には、自分のプレゼンテーションデータ・教材データ・集計分析した学習者データ等が管理できる専用ページも提供し、自分自身の講義のデジタル化が可能です。

なお、「リアル研修」の場として、KK<sup>2</sup>施設以外の会場※2でもKK<sup>2</sup>デジタルプレゼンテーションプラットフォームは利用できます。

令和元年度は「教育のデジタル化研究会」参加メンバーの皆様に、実際の教育の場でご利用いただきました。なお、開発を行った株式会社メディアリンクにより、特許番号：第6507328号、第6582262号を取得しています。

## KK<sup>2</sup>デジタルプレゼンテーションプラットフォーム(DPP)



※1 アナライザ (Response Analyzer) は、講師・全学習者を繋ぐプラットフォームです。データ収集と分析により「教授力」をバージョンアップし、プログラム評価を手軽に行うことができます。

※2 セミナー会場では、講師・学習者がネット接続できる環境が必要です。

### - 5 協賛メンバー様専用ページの提供 (協賛メンバーページ)

KK<sup>2</sup>Webサイトにログインする時のメールアドレスのドメイン名 (@以下) を認識し、協賛メンバー様の組織名称等を表示する専用ページサービスを提供しています。KK<sup>2</sup>プログラムの中から特に学んでいただきたいプログラムをピックアップして表示したり、協賛メンバー様のオリジナルの動画教材も登録できます。前述のKK<sup>2</sup>デジタルプレゼンテーションプラットフォームもご利用いただけます。

令和元年度は、ユーザー管理画面を用意し、専用ページの編集・学習者管理・学習履歴の閲覧ができるようになりました。組織としてKK<sup>2</sup>プログラムを活かした自己学習環境を従業員に提供し学びたい従業員が自主的に会員登録し自己学習を進めることができます。

## -6 KK<sup>2</sup>ラーニングマネジメントシステム（LMS）の提供

人材育成の必要性・重要性を否定する人はいませんが、企業規模が小さい中小零細企業ほど学習機会に乏しく、学びの格差が広がっています。人材育成を実施する上では「業務が多忙で、育成の時間的余裕がない」「上長等の育成能力や指導意識が不足している」「人材育成が計画的・体系的に行われていない」等が大きな課題となっています。

KK<sup>2</sup>ラーニングマネジメントシステムは、「リアル研修（KK<sup>2</sup>orセミナー会場）」「ライブ学習」「オンデマンド学習」で学習機会を増やし、「自分で自分を育てる」自律した人材を育むことを目的としています。KK<sup>2</sup>で開発し公開している、社会や組織で活躍するために必要な「しごと力」を学べる動画プログラムを教材として活用できるプラットフォームです（協賛メンバー様限定）。令和元年度は、既存ユーザー様の引き続きの運用と、新規ユーザーへのPRを進めております。

## -7 介護人材の教育訓練に資する自己学習環境の創出

AVCCと相互協力協定を締結する社会福祉法人スマイリング・パーク様とのコラボレーションで、介護人材の教育訓練に資する自己学習環境を創出する取組をはじめています。一般的に「業務が多忙で、育成の時間的余裕がない」という経営者が多い中で、スマイリング・パーク様では日本語を母国語としないスタッフも含め、介護に関する「しごと力」を高め、「働く人の幸福度」を追求し笑顔いっぱいの職場を目指しておられます。

令和元年度は、スマイリング・パーク様にDPPを教育研修や会議運営に活用をさせていただいており、「教育のデジタル化研究会」での発表など、改善を図るためのご協力をいただきました。

・社会福祉法人スマイリング・パーク <https://smilehohoemi.com/>

・第39回エキスパート・スタジオ

社会福祉法人スマイリング・パーク理事長 山田一久さん

<https://www.kk2.ne.jp/kk2/biz02/exp039.html/>

## -8 日本語を母国語としない方向け自己学習プログラム「しごとのにほんご」の提供

改正出入国管理法が施行されたことを受けて、日本に来られる日本語を母国語としない方々に、私たちには「労働力」のみを求めるだけではなく、「生活者」として日本社会に受け入れる環境整備が求められています。

職場や日常生活で最低限必要な日本語を見て、聞いて、まるごと覚える「[しごとのにほんご](#)」（24ステップ）はAVCCがオリジナルに制作したビデオです。令和元年度は、スマ

ホで学ぶことができるKK<sup>2</sup>LMSとして提供するために、英語テロップへの対応等を行いました。

Step.1 あいさつ (aisatsu) greet somebody	Step.13 やるき (yaruki) motivation
Step.2 ひとのなまえ (hito no namae) the name of the person	Step.14 さようなら (sayōnara) good bye
Step.3 ばしょ (basho) place	Step.15 ごみ (gomi) garbage
Step.4 もののなまえ (mono no namae) the name of the thing	Step.16 かたづけ (katazuke) clean up
Step.5 もちもの (mochimono) belongings	Step.17 しずか (shizuka) quiet
Step.6 やって (yatte) do it	Step.18 でんわ (denwa) telephone
Step.7 だめ (dame) no good	Step.19 いきかた (ikikata) how to go
Step.8 いいですか? (idesuka) Is that okay?	Step.20 かいもの (kaimono) shopping
Step.9 やること (yarukoto) things to do	Step.21 ねだん (nedan) price
Step.10 かず (kazu) numbers	Step.22 すきな たべもの (sukina tabemono) favorite food
Step.11 いち / ほうこう (ichi / hōkō) position / direction	Step.23 こうつう るーる (kōtsū rūru) traffic rules
Step.12 じかん (jikan) time	Step.24 びょうき / けが (byōki / kega) sick / injury



### (3) AI社会を生きる力を考える

#### -1 [AVCC&KK<sup>2</sup>事業説明会](#)

令和元年度のスタートにあたり、AI社会を人材育成の視点から焦点をあて、皆さまと共有し考える場として、AVCC&KK<sup>2</sup>事業説明会2019「AI社会のリスクと日本人に求められる力」を4月17日（水）に開催しました。



講師には『AIと憲法』の著者で憲法学者の山本龍彦氏と『第4次産業革命での基礎的ITリテラシー委員会』座長、KK<sup>2</sup>産学官連携主席研究員である伊藤健二氏にご登壇いただきました。AI社会における個人の尊重やプライバシー侵害のリスクについて理解し、私たちにどのようなリテラシーが求められているのかについて皆さまと考え、AVCC賛助会会員、KK<sup>2</sup>協賛メンバーが相互に学び、交流を深める場となりました。

#### 「AI社会のリスクと日本人に求められる力」参加者数

AVCC&KK <sup>2</sup> 事業説明会	開催日	参加者合計	属性内訳			ライブ配信参加者合計	Webページ訪問者合計	Web訪問者内訳			合計	オンデマンドレビュー (5段階評価)
			メンバー	Web会員	一般			PC	タブレット	スマホ		
「AI社会のリスクと日本人に求められる力」	2019/4/17(水)	82名	82名	0名	0名	—	70名	56名	0名	15名	1,132名	4.6
【ライブ配信】AVCC&KK <sup>2</sup> 事業説明会 2019「AI社会のリスクと日本人に求められる力」	2019/4/17(水)	—	—	—	—	36名	944名	593名	40名	311名		
合計		82名	82名	0名	0名	36名	1,014名	648名	40名	326名	1,132名	

#### -2 [AVCC&KK<sup>2</sup> 特別講演会](#)

前述の「AVCC&KK<sup>2</sup>事業説明会」のテーマを受けて、未来のAI社会を見据えてどのように企業が具体的な取組をしているのか、みなさんと共有する場としてKK<sup>2</sup>協賛メンバーである全日本空輸株式会社様のご協力をいただき企画しました。



激しい変化の時代にどのような価値観をもち、どのように働き、生きていくのかについて考える

きっかけとして、AVCC&KK<sup>2</sup>特別講演会2019「ANAの破壊的イノベーション『未来のエアライン』に学ぶ」を12月11日（水）に開催しました。

講師には、ANAホールディングス「デジタル・デザイン・ラボ(DD-Lab)」のチーフ・ディレクター 津田佳明氏と『第4次産業革命での基礎的ITリテラシー委員会』座長、KK<sup>2</sup>産学官連携主席研究員である伊藤健二氏にご登壇いただきました。ANAホールディングス創

業時のベンチャーイズムを受け継ぎ、ドローン・宇宙・アバターといったテーマに取り組むDD-Labが目指す「未来のエアライン」について皆さまと考え、AVCC賛助会会員、KK<sup>2</sup>協賛メンバーが相互に学び、交流を深める場となりました。

「ANAの破壊的イノベーション『未来のエアライン』に学ぶ」参加者数

特別講演会	開催日	参加者合計	属性内訳			ライブ配信参加者合計	Webページ訪問者合計	Web訪問者内訳			合計	オンデマンドレビュー (9段階評価)
			メンバー	Web会員	一般			PC	タブレット	スマホ		
「ANAの破壊的イノベーション『未来のエアライン』に学ぶ」	2019/12/11(水)	74名	53名	21名	0名	-	404名	299名	5名	100名	1,378名	4.8
【ライブ配信】「ANAの破壊的イノベーション『未来のエアライン』に学ぶ」	2019/12/11(水)	-	-	-	-	24名	876名	614名	24名	238名		
合計		74名	53名	21名	0名	24名	1,280名	913名	29名	338名	1,378名	

-3 気仙とKK<sup>2</sup>のコミュニティ活動の交流 [「デジタル公民館けせん～けせんの魅力を世界へ～」活動](#)（岩手県「令和元年度被災者の参画による心の復興事業」採択事業）

「デジタル公民館まっさき」活動は、2011年東日本大震災で大きな被害を被った岩手県気仙地方を継続的に訪問し、地域住民の方々と都会から出向いた参加者が共に進めてきました。

自治体	大船渡市		陸前高田市	
	施設	地区公民館 居場所ハウス	同左 浜の停車場	長洞元気村
内容	PC・スマートフォン等の利活用のお手伝い			
	ホームページ連携	—	ホームページ連携	—
	竹とんぼ教室等	情報発信促進	防災教育連携	情報発信促進

令和元年度は、岩手県「令和元年度被災者の参画による心の復興事業」の採択を受け「デジタル公民館けせん～けせんの魅力を世界へ～」とし、まっさき地区だけでなくけせん地方とされる大船渡市、陸前高田市の4つの地域・施設を中心に取り組み、ネットワーク環境整備、PC・スマホ教室運営支援、情報発信促進支援等デジタルデバイドの解消と共に、地域活動促進、被災体験に基づく防災研修等気仙の魅力を世界へ発信する地域振興を後押ししました。

現地活動は18回開催し、参加者数は434名でした。主にどこ竹三鷹inまっさきの竹とんぼ教室の活動状況及び竹とんぼの他竹細工等の展示、末崎町公民館PC・スマホ教室では気仙地域を撮影したデジタル写真歌集「潮騒の聴こえる碁石海岸の写真歌集」を制作、本活動を通してドローンによる気仙の自然・文化・暮らについて象徴的なシーンを撮影し制作した映像「美しい国けせん」\*をYouTubeチャンネルに投稿し、参加市民団体が検索・視聴し気仙の魅力について語り合い交流を深めました。映像には日本語と英語の字幕入りで紹介されています。是非御覧ください。

No.	日付	場所	概要	参加者数
1	2019/7/28	蛸の浦公民館	竹とんぼ教室運営支援	17
2	2019/8/3	末崎町地区公民館	PC・スマホ教室運営支援	10
3	2019/8/4	居場所ハウス	夏休み親子ものづくり教室運営支援	16
4	2019/8/4	長洞元気村	長洞元気村防災研修プログラム検討会	2
5	2019/8/4	気仙大工左官伝承館	第1回 デジタル公民館けせん地域間連絡会	24
6	2019/9/6	大船渡市立末崎町学校	竹とんぼ教室運営支援(祖父母参観)	97
7	2019/9/14	末崎町地区公民館	PC・スマホ教室運営支援	10
8	2019/11/9	末崎町地区公民館	PC・スマホ教室運営支援	10
9	2019/11/15	末崎町地区公民館	末崎町民文化祭出展運営支援	54
10	2019/12/7	末崎町地区公民館	PC・スマホ教室運営支援	10
11	2019/12/8	末崎町地区公民館	ミニ門松づくり教室運営支援	35
12	2019/12/8	長洞元気村	長洞元気村防災研修プログラム検討会	2
13	2019/12/8	長洞元気村	第2回 デジタル公民館けせん地域間連絡会	44
14	2019/12/22	モビリア仮設住宅	ミニ門松づくり教室運営支援	30
15	2019/12/22	蛸の浦公民館	ミニ門松づくり教室運営支援	17
16	2020/1/11	末崎町地区公民館	PC・スマホ教室運営支援	10
17	2020/2/15	末崎町地区公民館	PC・スマホ教室運営支援	10
18	2020/2/16	居場所ハウス	第3回 デジタル公民館けせん地域間連絡会	36
計				434



\*YouTubeチャンネル [https://www.youtube.com/watch?time\\_continue=6&v=rZsmjsThmdE](https://www.youtube.com/watch?time_continue=6&v=rZsmjsThmdE)

-4 行政に頼らない「むら」おこし、「やねだん」（鹿屋市串良町柳谷集落）Webサイト  
およびメーリングリスト運営

「やねだん」は鹿児島県大隅半島のほぼ中央に位置し、120 世帯およそ 300 人が共存する、高齢化が進む典型的な中山間地域の集落です。「やねだん」では住民が協働して土着菌堆肥を作り、休遊農地でサツマイモや唐辛子を栽培し、家畜排せつ物の消臭にも活用しています。これらの販売により集落としての自主財源を確保し、住民の福祉向上などに役立てています。



KK<sup>2</sup>は、この「自律した地域作り」を「地域再生」「コミュニティ・ビジネス」のGood Practice として発信するため Web サイトの運営を行っています。また「やねだん」が主催する全国の自治体職員、福祉介護職員が中心となり参加する「故郷創世塾」の卒塾生（約 1,000名）の情報共有のためのメーリングリストの登録、管理業務も平成30年度より行っています。令和元年度も引き続き行ってまいりました。

なお「やねだん」のリーダー豊重哲郎さん(柳谷自治公民館館長)は[第17回エキスパート・スタジオ](#)に出演いただき、人生 100 年時代のコミュニティリーダーのあり方について熱く語っていただいています。是非御覧ください。

\*やねだん Web サイト <http://www.yanedan.com/>

(4) 個人のレジリエンスを学ぶ

-1 [霞が関坐禅会～自分自身と向き合ってみよう～](#)

仕事帰りに気軽に“坐禅”を体験し、姿勢を調べ、呼吸を調べ、そして心を調べ、じっくりと自分自身と向き合ってくださいプログラムです。

(宗教/宗派不問、どなたでも参加可能。) 臨済宗妙心寺派 東京禅センター様にご協力いただいております。講師には中山宗祐さん(円光寺副住職)をお招きしました。令和元年度は3回開催し、参加者数は57名でした。



「霞が関坐禅会～自分自身と向き合ってみよう～」参加者数

霞が関坐禅会	開催日	参加者合計	属性内訳			Webページ訪問者合計	Web訪問者内訳			合計	オンデマンドレビュー(5段階評価)
			メンバー	Web会員	一般		PC	タブレット	スマホ		
第六回 霞が関坐禅会	2019/6/26(水)	20名	11名	9名	0名	492名	287名	14名	191名	512名	4.6
第七回 霞が関坐禅会	2019/9/4(水)	18名	12名	6名	0名	586名	361名	9名	216名	604名	4.4
第八回 霞が関坐禅会	2020/1/22(水)	19名	7名	12名	0名	621名	338名	18名	265名	640名	5.0
	合計	57名	30名	27名	0名	1,699名	966名	41名	672名	1,756名	

-2 [タフな心の育て方](#)

ストレス社会と言われる現在、心の葛藤に立ち向かい、逆境に強い自分になるために、しなやかに折れない「タフな心」の育て方を講義と実践で学ぶ、参加型プログラムです。講師は、過酷な現場で活躍する約3万人の消防士の方々の育成に携わってきたKK<sup>2</sup>アドバイザーメンバーの鎌田修広さん(株式会社タフ・ジャパン 代表取締役)です。



平成30年度からの継続プログラムで、令和元年度は3回開催し、参加者数は75名でした。鎌田さんは[第51回エキスパート・スタジオ](#)に出演いただいております。

「タフな心の育て方」参加者数

タフな心の育て方	開催日	参加者合計	属性内訳			Webページ訪問者合計	Web訪問者内訳			合計	オンデマンドレビュー(5段階評価)
			メンバー	Web会員	一般		PC	タブレット	スマホ		
第4回「ネガティブ感情に対処する」	2019/5/29(水)	25名	22名	3名	0名	732名	466名	40名	226名	757名	4.4
第5回「レジリエンス・マッスルを鍛える」	2019/7/10(水)	25名	24名	1名	0名	591名	403名	10名	178名	616名	4.4
第6回「逆境体験を教訓化する」	2019/10/30(水)	25名	23名	2名	0名	623名	403名	9名	211名	648名	4.6
	合計	75名	69名	6名	0名	1,946名	1,272名	59名	615名	2,021名	

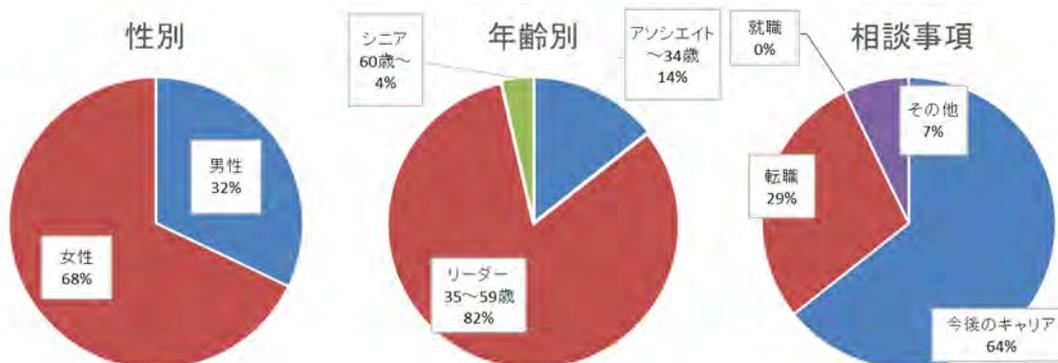
### -3 KK<sup>2</sup>キャリア相談室

特定非営利活動法人日本キャリア開発協会（JCDA）と提携し、月～金曜日に6名の経験豊かなキャリアカウンセラーが担当しています。仕事はもちろん、人生全体をライフキャリアとしてとらえ、幅広い相談に対応しています。職業紹介とリンクしない独立したカウンセリングというユニークなキャリア相談ということでリピーターも増えています。

令和元年6月より、受付時間の拡大により利用者の方の利便性を向上することを目的として、昼間の時間帯（13時～15時枠）の受付を試験的に行っています。利用状況を踏まえ今後の相談時間の枠について検討を行います。

令和元年度は28名の方に来談いただきました。内訳は男女別では女性が68%、年齢別ではリーダー層（35～59歳）が82%、相談事項については、今後のキャリアが64%となっています。

令和元年度 KK<sup>2</sup>キャリア相談室実施状況



キャリアカウンセラー（令和2年3月末現在/敬称略）

 <p>徳橋美治氏 JCDAキャリア・ディベロップメント・アドバイザー</p>	 <p>堀田治見氏 株式会社ビジネスパラダイム（日本）代表取締役</p>	 <p>垣内啓江氏 JCDAキャリア・ディベロップメント・アドバイザー</p>
 <p>池田秀治氏 JCDAキャリア・ディベロップメント・アドバイザー</p>	 <p>田代理恵氏 JCDAキャリア・ディベロップメント・アドバイザー</p>	 <p>早坂明美氏 JCDAキャリア・ディベロップメント・アドバイザー</p>
 <p>伊庭野基明氏 グローバルキャリアカウンセラー（アドバイザー）</p>		

#### -4 レジリエンスを鍛えるプログラムのコーディネート業務

2014年度よりKK<sup>2</sup>で開催した防災関連のプログラムの経験を活かし、企業から依頼を受け防災教育プログラムのコーディネート業務を行っています。マニュアルに沿った防災訓練ではなく、意識改革を主眼とした体感型訓練を実施し、有事に自分の頭で考え行動できる、また人とコミュニケーションをとり行動できることをテーマとした教育プログラムです。KK<sup>2</sup>アドバイザリーメンバーの鎌田修広さん（株式会社タフ・ジャパン 代表取締役）に講師としてご協力いただいております。

令和元年度は、3月11日（水）に、複合施設運用企業の防災研修プログラムを予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大を受けて延期となっております。

#### -5 大規模災害時における帰宅困難者等受入に関する協定

平成27年2月に千代田区と「大規模災害時における帰宅困難者等受入に関する協定」を締結しています。東日本大震災発災時にKK<sup>2</sup>として独自に帰宅困難者受入を行った経験を活かし、震災、水災等の災害が発生した場合、千代田区内の帰宅困難者等を一時的に「エキスパート倶楽部」と「スタジオ」に受入協力を行います。帰宅困難者等受入にあたっては、現状以下の環境を整備しています。

- ・千代田区災害対策危機管理課との専用無線
- ・3日分の水食料、毛布、携帯トイレなどの備蓄品
- ・災害時特設公衆電話（4回線）
- ・大型ディスプレイからの災害情報番組の放送（最新の交通情報、被害情報などの提供）
- ・Wi-Fi回線の開放及びパソコンの無料貸与
- ・スマホや携帯電話の充電対応 など

令和元年度は、引き続き月1回の千代田区との防災無線訓練の実施等、災害時の行動チェックリスト、非常時体制表、課題管理表の見直しをすすめました。

#### -6 誰もが輝いて働ける場に！交流カフェ「エキスパート倶楽部」ランチ・カフェ運営

平成30年度より、相互協定を締結した社会福祉法人むそう様にエキスパート倶楽部の一般営業（ランチ・カフェ）の運用を行っていただいています。様々な事情を抱える方達が、安全に楽しく働ける場として活用していただいています。（一般営業は土日祝日を除く11:30～15:00）



「社会福祉法人むそう」

家族がいなくなっても障害のある方が「自分らしい暮らしを、暮らしたい地域で継続できる」ことをめざして、「誰もが生きやすい社会をつくりたい」をモットーに1999年より活動を開始。「育む」「働く」「住む」「経験する」という4つの基本的な支援を行っています。本部のある愛知県にはじまり、現在は東京・宮城と活動の場を広げています。

代表：戸枝陽基氏

本部：愛知県半田市天王町1丁目40-5 URL：<http://musou.or.jp/>

第53回エキスパート・スタジオ

ソーシャルアントレプレナー 戸枝 陽基 さん

(NPO法人ふわり・社会福祉法人むそう 理事長)

(5) 組織・地域を担うしごとと力を学ぶ

-1 社会で活躍する人のしごとと力を学ぶ「エキスパート・スタジオ」

「エキスパート・スタジオ」は、様々な分野で活躍するエキスパートをゲストに迎え、「仕事とは」「働くとは」「働く喜びとは」について考え学ぶインタビュー形式のWeb番組です。ゲストは様々な職業で活躍する若い世代から、人生二周目に社会の課題解決へ挑戦するアクティブシニアまで、目の前の課題に全力で挑戦するエキスパートです。「アソシエイト」



「リーダー」「シニア」各年代の参加者が、エキスパート達の考え方、行動、しごと力、コンピテンシーについて学び、自分の「ロール・モデル」を見つけることを目的としています。令和元年度は3回開催し、参加者数は63名（ライブ配信参加81名）でした。

企業や団体・組織で活躍する若い世代のエキスパートの場合は、就職活動の時期に合わせて開催し、遠隔地で参加できるライブ配信も活用し、多くの学生が参加する場となっています。通常の企業説明会とは異なり、エキスパートの仕事への思いやコンピテンシーについてじっくりと向き合うことができること、また組織側も求める人材像を学生達に直接伝えられることができる有意義な場として評価していただいています。



第52回 建設業界経営者  
河田 亮一さん  
(加和太建設株式会社 代表取締役)



第53回 ソーシャルアントレプレナー  
戸枝 陽基さん(NPO法人ふわり・社会福祉法人むそう 理事長)



第54回 航空業界人事事務職  
俣野 公利さん(ANAウィングフェローズ・ヴィ王子株式会社 働き方企画部 採用担当 マネージャー)

「エキスパート・スタジオ」参加者数

エキスパート・スタジオ	開催日	参加者合計	属性内訳			ライブ配信参加者合計	Webページ訪問者合計	Web訪問者内訳			合計	オンデマンドレビュー(5段階評価)
			メンバー	Web会員	一般			PC	タブレット	スマホ		
第52回エキスパート・スタジオ 建設業界経営者 河田 亮一さん	2019/4/10(水)	23名	17名	6名	0名	26名	719名	348名	19名	352名	768名	4.8
第53回 ソーシャルアントレプレナー 戸枝 陽基さん(NPO法人ふわり・社会福祉法人むそう 理事長)	2019/10/16(水)	33名	24名	9名	0名	42名	2,150名	912名	85名	1,153名	2,225名	4.8
第54回エキスパート・スタジオ 航空業界人事事務職 俣野 公利さん	2019/12/12(木)	7名	7名	0名	0名	13名	470名	314名	7名	149名	490名	4.9
合 計		63名	48名	15名	0名	81名	3,339名	1,574名	111名	1,654名	3,483名	

-2 しごと力道場 ～コミュニケーション力を高める対話型ワークショップ～

「アソシエイト」「リーダー」層を中心にビジネスにおける普遍的なテーマについて、少人数でディスカッションを行い「自分で考える力」「自分を客観的に評価する力」を養うプログラムです。



ディスカッションは、ファシリテーター（師範代）の池田正夫さん（人材育成コンサルタント）を中心に、自由に参加者が発言を行います。継続的に参加することによって

効果が高まるプログラムのため、参加回数に応じて「白帯」「茶帯」「黒帯」と段位認定し認定証を発行しています。

令和元年度より、活発なディスカッションを推進するために、定員を減らし10名から8名に変更しました。また、テーマの事前に提示は行わず、参加者の属性などを鑑み、池田師範代が当日提示することに変更しました。参加者に自己チェックとして活用いただいている「対話力チェックシート」は、ご希望があれば事務局で保管させていただくことも新たな試みとして行いました。令和元年度は3回開催し、参加者数は22名でした。

「しごと力道場」参加者数

しごと力道場	開催日	参加者合計	属性内訳			Webページ 訪問者 合計	Web訪問者内訳			合計
			メンバー	Web会員	一般		PC	タブレット	スマホ	
第21回 しごと力道場 ～コミュニケーション力を高める対話型ワークショップ～	2019/6/8(土)	<b>8名</b>	3名	5名	0名	<b>227名</b>	158名	17名	52名	<b>235名</b>
第22回 しごと力道場 ～コミュニケーション力を高める対話型ワークショップ～	2019/10/26(土)	<b>7名</b>	4名	3名	0名	<b>338名</b>	217名	8名	113名	<b>345名</b>
第23回 しごと力道場 ～コミュニケーション力を高める対話型ワークショップ～	2020/2/15(土)	<b>7名</b>	1名	6名	0名	<b>393名</b>	255名	13名	125名	<b>400名</b>
	合 計	<b>22名</b>	8名	14名	0名	<b>958名</b>	630名	38名	290名	<b>980名</b>

-3 しごと力向上ライブラリ

「しごと力向上ライブラリ」はこれまで95講座263単元(令和2年3月末現在)を開発しました。学校教育や企業研修という枠を超え、社会で活躍するために必要な「しごと力」を学べる講座を提供しています。KK<sup>2</sup>をご支援いただいている協賛メンバーの組織はもちろん、教育研修制度を整えるのが難しい中小企業等、無料でいつでもどこでもどなたでもご利用いただけます。各講座にはオンデマンドレビュー（5段階評価）がついており、視聴いただいた方に評価をしていただいております。今後の講座開発に活用しています。講座の企画開発は、講師のみなさんに無償でご協力いただいております改めて感謝申し上げます。

なお、落語仕立てで楽しく自閉症スペクトラムについて学べる「みんなちがってすてきだね～自閉症の理解 はじめの一步～」は、「発達障害啓発週間」（4月2日～8日）に合わせて、自閉症の理解の普及啓発に役立てていただけることを目的とし、能越ケーブルネット様のご協力で放映されました。（放映期間：2019年4月7日（日）8時から4月13日（土）22時まで 放映地域：富山県氷見市、石川県羽咋市・穴水町・珠洲市）

令和元年度公開「しごと力向上ライブ러리」（7講座）

公開月	講座名	オンデマンドレビュー (5段階評価)
2019年 4月、6月	基礎から学ぶ 仕事に活かすインターネット 講師：津田伸介(防災及びシステムコンサルタント)	4.7
5月	みんなちがってすてきだね～自閉症の理解 はじめの一步～ 講師：山口久美(有限会社SNOW DREAM 取締役、NPO法人ふわり・ケアコンサルタント)	4.9
7月、9月、10月	40歳からの結晶性能力の伸ばし方 ～ミドル世代の生き残り術～ 講師：崎山みゆき(一般社団法人日本産業ジェロントロジー協会代表理事 / 株式会社自分案 代表取締役 / 東京都セカンドキャリア塾講師)	4.6
8月	日本の財政を考える 協力：財務省主計局	4.3
9月	できていますか？信頼される職場づくりのための「報告」～情報セキュリティ事故が起きて慌てないために～	4.8
11月、12月、1月、2月	「アサーション」で築く素敵な人間関係 ～わたしもOK あなたもOK のコミュニケーション～ 講師：文川 実(キャリア開発カウンセラー / アサーション認定トレーナー / 1級キャリアコンサルティング技能士 / 中小企業診断士)	
3月	AI社会に求められるしごと力 ～行動力コンピテンシーの基礎と実践～ 講師：伊庭野 基明(KKグローバルキャリアカウンセラー ビジネスコーチ)	4.7



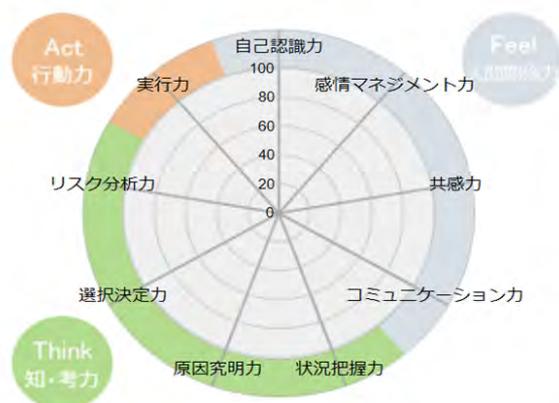
## -4 コンピテンシー・チェック

(Webチェックプログラム)

～「Feel」「Think」「Act」あなたのコンピテンシーをチェック～

社会に貢献している人、社会で活躍する人、優れた仕事をする人が備える「しごと力」の中核となるコンピテンシー「Feel（人間関係力）、Think（問題解決力）、Act（行動力）」について理解し、自分自身の学習課題を知るWebでチェックできるプログラムです。Web会員登録を行えばどなたでも無料で利用できます。令和元年度の受講者は延べ85名でした。KK<sup>2</sup>コンピテンシーの改定については、継続的に検討を行っています。

コンピテンシー・レーダーチャート

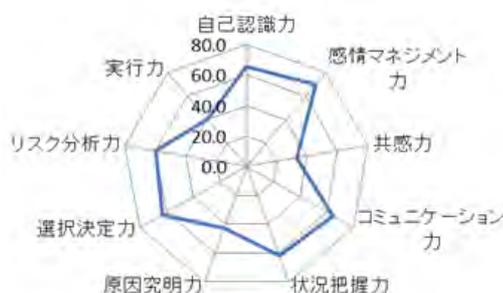


このレーダーチャートは、あなたのコンピテンシーチェックの結果を表示しています。あなたの仕事や社会活動で、さらに求められるコンピテンシーに気づき、学びましょう。KK<sup>2</sup>では、コンピテンシーを高めるために役立つ教材をそろえています。是非活用してください。以下のリストから必要なコンピテンシー項目をクリックしてください。

Feel =人間関係力	Think =問題解決力	Act =行動力
(1) 自己認識力	(5) 状況把握力	(9) 実行力
(2) 感情マネジメント力	(6) 原因究明力	
(3) 共感力	(7) 選択決定力	
(4) コミュニケーション力	(8) リスク分析力	

### コンピテンシー・チェック平均スコア (KK<sup>2</sup> Webでの受講者)

講座名	ケーススタディ	理解度平均スコア
人間関係力 (Feel)	自己認識力 「就職活動」	65.6
	感情マネジメント力 「年下の上司」	70.0
	共感力 「父親の転職」	33.0
問題解決力 (think)	コミュニケーション力 「バイトのシフト交替」	65.0
	状況把握力 「町のゴミ問題」	62.2
	原因究明力 「パソコン故障の原因」	42.9
行動力 (Act)	選択決定力 「妹の進路決定」	63.3
	リスク分析力 「犬小屋づくり」	60.0
	実行力 「アイスホッケーのスターになるために」	40.0



(6) 文化に親しみ交流する

文化に親しみ、人と人との交流の場を提供する「KK<sup>2</sup>文化プログラム」は、文化庁「[霞が関から文化カプロジェクト](#)」事業として展開しています。



-1 [食と文化講座](#)

食を通じてさまざまな文化に触れ、講師、参加者とともに交流の場を提供するプログラムです。地域創生に貢献できるテーマ、特に「エキスパート・スタジオ」をはじめ、KK<sup>2</sup>で取り組んでいるプログラムにご協力いただいた自治体、組織、講師などと連携して企画を行い、日本の地域の魅力を食と文化という視点で



発信していきます。令和元年度は、社会福祉法人むそう様よりご紹介いただいた一般社団法人 ラ・バルカグループ /QUON CHOCOLATE 様と、またKK<sup>2</sup>の地元である霞が関三丁目町会とのコラボレーションを行い、2回開催し参加者数は54名でした。

なお、3月13日に開催を予定しておりましたプログラムは新型コロナウイルス感染症の影響により延期となりました。

「食と文化講座」参加者数

食と文化講座	開催日	参加者合計	属性内訳			Webページ訪問者合計	Web訪問者内訳			合計	オンデマンドレビュー (5段階評価)
			メンバー	Web会員	一般		PC	タブレット	スマホ		
【霞が関三丁目町会 限定プログラム】初心者のためのワインの楽しみ方 ~日本を代表する生産者のワイン5種を味わう~	2019/11/15(金)	26名	0名	0名	26名	117名	80名	4名	33名	143名	
トップショコラティエが語る「QUON CHOCOLATE」の魅力 ~多様な方たちの手作りチョコレートを味わう~	2019/11/27(水)	28名	12名	16名	0名	760名	433名	30名	297名	788名	50
創業130年の老舗ワイナリー「ルバイヤート」の取り組み	2020/3/13(金)	中止	-	-	-	539名	247名	10名	282名	539名	
合計		54名	12名	16名	26名	1,416名	760名	44名	612名	1,470名	

-2 [霞が関寄席](#)

忙しいビジネスパーソンに、伝統芸能に親しむ場、そして笑いでストレス発散、リラックスする場を提供します。令和元年度は3回開催し、参加者数は396名でした。いずれも本公演は当日満席となってしまう、エキスパート倶楽部で大型モニターに配信するライブビューイング会場も追加募集しました。

令和元年度も、8月30日（金）の寄席は、出演者 金原亭駒与志さんのご厚意でチャリティとして開催し「デジタル公民館まっさき」活動に全額寄付をいただきました。改めてお礼申し上げます。

### 「霞が関寄席」参加者数

霞が関寄席	開催日	参加者合計	属性内訳			Webページ 訪問者 合計	Web訪問者内訳			合計	オンデマンド レビュー (5段階評価)
			メンバー	Web会員	一般		PC	タブレット	スマホ		
五月 霞が関寄席 馬玉・駒与志二人会	2019/5/22(水)	105名	72名	33名	0名	264名	138名	2名	124名	369名	5.0
【ライブビューイング】五月 霞が関寄席 馬玉・駒与志二人会	2019/5/22(水)	39名	9名	30名	0名	280名	176名	6名	99名	319名	
チャリティー霞が関寄席 金原享駒与志独演会	2019/8/30(金)	97名	31名	66名	0名	538名	279名	23名	236名	635名	5.0
【ライブビューイング】チャリティー霞が関寄席 金原享駒与志独演会	2019/8/30(金)	22名	14名	8名	0名	263名	179名	14名	70名	285名	
十二月 霞が関寄席 馬玉・駒与志二人会	2019/12/4(水)	100名	45名	55名	0名	350名	228名	17名	105名	450名	4.6
【ライブビューイング】十二月 霞が関寄席 馬玉・駒与志二人会	2019/12/4(水)	33名	10名	23名	0名	211名	110名	6名	95名	244名	
合 計		396名	181名	215名	0名	1,906名	1109名	68名	729名	2,302名	

### -3 「霞が関音楽祭」への協力

文化庁が中心となり、KK<sup>2</sup>、霞が関コモンゲート、霞が関ビル等が主催するプログラムです。文化庁「霞が関から文化プロジェクト」の一環で、霞が関のにぎわい創出、また音楽に気軽にふれていただく機会の提供として平成26年度よりスタートしました。これまで夏に開催していましたが、令和元年度は10月7日（月）～10月11日（金）への開催へ変更となりました。KK<sup>2</sup>では10月8日（火）、10月9日（水）の2回開催し、参加者数は40名でした。

なお、開催にあたっては株式会社MuCuL様のご協力をいただいております。

### 「霞が関音楽祭」参加者数

「霞が関音楽祭」への協力	開催日	参加者合計	属性内訳			Webページ 訪問者 合計	Web訪問者内訳			合計	オンデマンド レビュー (5段階評価)
			メンバー	Web会員	一般		PC	タブレット	スマホ		
霞が関音楽祭2019「サイン(手話)アートと音楽をどうぞ」～『万葉集』(山頭火)による和歌の世界～	2019/10/8(火)	20名			20名	190名	137名	4名	49名	210名	5.0
霞が関音楽祭2019「朗読と音楽の夕べ」～『万葉集』をうたう 芥川龍之介の『鼻』を読む～	2019/10/9(水)	20名			20名	304名	181名	4名	119名	324名	5.0
合 計		40名	0名	0名	40名	494名	318名	8名	168名	534名	

-4 [江戸TOKYO散歩](#)～広重「名所江戸百景」と東京の今～

(英語/韓国語/中文簡体/中文繁体版対応)

KK<sup>2</sup>開設記念に制作したオリジナル作品「江戸TOKYO散歩」は、歌川広重の最高傑作といわれる「名所江戸百景」から春夏秋冬の12景をモチーフに紹介、江戸と現在の東京の街並み、人々の営みを映像に収めています。海外の方がご覧になれるよう多言語（英語/韓国語/繁体字/簡体字）で提供しています。

Web会員登録をしなくても東京の魅力をご覧いただけるようにYouTubeでの配信も行っています。令和元年度の動画視聴回数は、1,474回となっています。



\* 江戸TOKYO散歩 <http://edo-tokyo-sanpo.com/>

「江戸TOKYO散歩」動画視聴回数

動画視聴回数	日本語	英語	韓国語	中文簡体	中文繁体	合計
プロローグ	100	11	20	12	12	155
Vol.1「虎の門外あふひ坂」(虎ノ門)	102	5	9	3	8	127
Vol.2「浅草金龍山」(浅草)	41	9	4	6	4	64
Vol.3「湯しま天神坂上眺望」(湯島)	50	4	20	4	5	83
Vol.4「する賀てふ」(日本橋三越前)	300	21	17	22	27	387
Vol.5「山下町日比谷外さくら田」(日比谷)	41	5	5	3	4	58
Vol.6「飛鳥山北の眺望」(王子・飛鳥山)	61	9	3	3	4	80
Vol.7「大はしあたけの夕立」(新大橋)	60	6	6	2	4	78
Vol.8「堀切の花菖蒲」(堀切)	53	19	5	2	2	81
Vol.9「はねたのわたし 辨天の社」(羽田)	40	7	6	3	1	57
Vol.10「両国花火」(両国)	32	8	27	3	2	72
Vol.11「京橋竹がし」(銀座)	43	10	22	5	5	85
Vol.12「四ツ谷内藤新宿」(新宿)	112	21	6	3	5	147
合計	1,035	135	150	71	83	1,474

(7) KK<sup>2</sup>事業運用関連

-1 会議・委員会等の開催

①KK<sup>2</sup>運営委員会の開催

文部科学省と、KK<sup>2</sup>が入居する霞が関コモンゲートの霞が関PFI株式会社が主催する霞が関ナレッジスクエア事業のモニタリング機能として運営委員会を開催しています。令和元年度は、6月19日（水）に平成30年度事業報告、12月18日（水）に令和元年度上期事業報告を開催しました。

【参加委員】（敬称略）〈KK<sup>2</sup>有識者委員〉

福田 猛 氏（一般社団法人大学技術移転協議会前事務局長）

藤野 仁三 氏（前東京理科大教授/知財コンサルタント）

〈霞が関7号館PFI株式会社〉

関 朋一 氏（株式会社久米設計 総務本部 人事部 部長）

園部 稔雄 氏（東京建物株式会社 ビルマネジメント第一部長）

佐々岡 慶介 氏（大成建設株式会社 都市開発本部 公民連携プロジェクト部）

平原 章次 氏（日鉄エンジニアリング株式会社  
建築・鋼構造事業部 プロジェクト部建築工事室）

白倉 毅 氏（日鉄エンジニアリング株式会社  
建築・鋼構造事業部 プロジェクト部建築工事室）

文部科学省

〈霞が関ナレッジスクエア（KK<sup>2</sup>）〉

久保田 了司（一般財団法人高度映像情報センター（AVCC）理事長／  
霞が関ナレッジスクエア代表）

伊庭野 基明（一般財団法人高度映像情報センター(AVCC) 理事／  
霞が関ナレッジスクエア グローバルキャリアカウンセラー）

伊藤 健二（霞が関ナレッジスクエア 産学官連携主席研究員／  
明治学院大学 特別学長補佐・戦略担当）

事務局 山田瑞恵／畑山奈緒美

② KK<sup>2</sup>定例会開催

毎週水曜日にKK<sup>2</sup>定例会を開催し、事業計画の進捗等について定期的に議論をしています。参加者は、久保田了司（KK<sup>2</sup>代表）、伊藤健二（KK<sup>2</sup>産学官連携首席研究員）、伊庭野基明（グローバルキャリアカウンセラー）、華井弘子（「エキスパート倶楽部」ゼネラルマネージャー）、事務局メンバーです。メルマガや、貸し出し状況、Webのアクセス状況、プログラムの企画や、運営全般をテーマに取り上げています。

- 2 メルマガ「メッセージ from KK<sup>2</sup>」発行

毎週金曜日に無料Web会員向けにメールマガジン「メッセージfrom KK<sup>2</sup>」を発行し、KK<sup>2</sup>のプログラム紹介やお知らせを発信しています。巻頭言「メッセージ from KK<sup>2</sup>」は、KK<sup>2</sup>開催プログラムと連動した「人と人との絆と地域再生」や「キャリア」「学び」をテーマにし、週替わりで4名がメインで担当しています。令和元年度は50回発行し、通巻では第622号となりました。（令和2年3月末日 購読者数11,573人）

・執筆者：

久保田了司（KK<sup>2</sup>代表）/伊藤健二（KK<sup>2</sup>産学官連携首席研究員）/伊庭野基明（グローバルキャリアカウンセラー）/華井弘子（「エキスパート倶楽部」ゼネラルマネージャー）

・開封率（黄色部分は開封率20%以上）

配信日	発行	タイトル	担当	開封率
2020/3/27	622	こんな時こそワーク&ライフバランスを	華井	19.56%
2020/3/19	621	今ここにある「ストレス」をどうするか-日本人に必要なことから-	伊庭野	18.90%
2020/3/13	620	今こそ真価が問われるテレワーク！助成金も活用してチームでの実践を進める！	伊藤	17.78%
2020/3/6	619	人口の1%が行動すれば地域は変わる！-デジタル公民館活動を展開します-	久保田	18.64%
2020/2/28	618	「ディスカバリー・ジャパン」のピュアチョコレートを生み出した二人のエキスパート	華井	18.36%
2020/2/21	617	「人は変わる」と信じて-コンピテンシー理論の土台-	伊庭野	18.79%
2020/2/14	616	チケットが当たらなかった人も楽しめる5G、VR、最先端技術を活かしたスポーツスタジアムへ	伊藤	18.23%
2020/2/7	615	「幕尻」優勝 徳勝龍関の涙が感動的でした！	久保田	17.96%



2020/1/31	614	創業130年の老舗ワイナリー「ルバイヤート」の取り組みー3月13日（金）開催ー	華井	14.25%
2020/1/24	613	「一燈照遇 万燈照国」ーKK <sup>2</sup> キャリア関連プログラムー	伊庭野	18.84%
2020/1/17	612	東京オリパラ2020だからこそ、新成人122万人も考える、AI社会での新たな一歩？	伊藤	14.55%
2020/1/6	611	Two Way教育が必須！ーSociety5.0時代に誰も置き去りにしない教育を！ー	久保田	19.30%
2019/12/27	610	誰も置き去りにしないー多様な方たちが取り組む多様なチョコレートとはー	華井	14.58%
2019/12/20	609	GAFGAを支える？中国・インド人材ー遅れていないか：日本のSTEM人材育成ー	伊庭野	18.20%
2019/12/13	608	「目から鱗(うろこ)！」最近、何を見つけていますか？	伊藤	17.76%
2019/12/6	607	なぜ後ろの席から埋まるのか？ーAI社会に求められる人、教育を考えるー	久保田	19.05%
2019/11/29	606	「Good & New」で毎朝スタート！ー時短、在宅...多様な働き方のコミュニケーションー	山田	13.62%
2019/11/22	605	テーマは「ピュアチョコレート」残席わずかー障害者雇用としても注目ー	華井	17.41%
2019/11/15	604	黒帯1、茶帯1、白帯1、初回4名ーKK <sup>2</sup> 第22回しごと力道場ー	伊庭野	19.26%
2019/11/8	603	ラグビーー日本の大きな一歩、そしてANAホールディングスが描く未来を通して考える、そこにある未来の一歩？	伊藤	16.71%
2019/11/1	602	ラグビーー日本代表チームが示唆した令和の日本ー質の高い教育が行われているのか、この国？ー	久保田	18.43%
2019/10/25	601	「QUONCHOCOLATE」をご存知ですか？ートップショコラティエが語りますー	華井	14.57%
2019/10/18	600	人気カウンセラーのプロフィールーKK <sup>2</sup> キャリア相談室ー	伊庭野	14.69%
2019/10/11	599	「主体的な学び」が求められている時代に、講義における効果は講義後にアンケートを取るだけでいいですか？	伊藤	19.81%
2019/10/4	598	お粗末！「本当に安全」と思い込んでしまった関係者、「原発は安全」と言わざるを得なかったあの頃・・・	久保田	19.55%
2019/9/27	597	戦略的イノベーターから学ぶ、地域密着型の福祉事業ー10/16開催 エキスパート・スタジオー	華井	13.92%
2019/9/20	596	職場のストレス解決をー心の健康管理ー	伊庭野	14.66%
2019/9/13	595	AI時代における、教育等におけるビッグデータの扱い？	伊藤	14.55%
2019/9/6	594	「日本の財政」と「将来を見すえた生活設計」を考えるー「全世代型の社会保障」に転換とは？ー	久保田	19.08%
2019/8/30	593	水曜19時の気軽な「社外活動」してみませんか？ー秋のKK <sup>2</sup> プログラムをご紹介ー	山田	19.42%
2019/8/23	592	この秋おすすめのワインツーリズムー繁忙期のぶどう畑とワイン造りー	華井	11.62%
2019/8/16	591	「メッセージ」のメッセージ	伊庭野	20.98%
2019/8/9	590	小泉進次郎氏の「つかみ」に学ぶ、正解のない時代におけるアイスブレイクの「問いかけ」！	伊藤	20.88%
2019/8/2	589	がんリスク半減「5つの健康習慣」ーあなたはいくつ実践していますか？ー	久保田	19.54%
2019/7/26	588	G20首脳夕食会でも提供！お薦めの酒蔵見学ー酒どころ日本ーの福島県・末廣酒造へー	華井	15.24%
2019/7/19	587	今さら聞けない？ーいつでもどこでも簡単に学べますー	伊庭野	20.06%
2019/7/12	586	AI時代に、改めて「教育」と「問いかけ」について考える機会？	伊藤	14.89%
2019/7/5	585	日経新聞に連載された柴田文啓さんー人間とは自分の顔を彫刻する 芸術家ー	久保田	19.98%

2019/6/28	584	エキスパート倶楽部の貸切パーティプランが変わりますー季節に合わせた旬のお料理をご提供ー	華井	14.63%
2019/6/21	583	より多くの皆様にー「KK <sup>2</sup> キャリア相談室」時間帯追加ー	伊庭野	14.97%
2019/6/14	582	就職氷河期世代（35～44歳）？学んでいる人<学びたい人！	伊藤	20.13%
2019/6/7	581	「ヤマナシの花」に学ぶーBeautiful Harmony（美しい調和）ー	久保田	19.35%
2019/5/31	580	みんなちがってすてきなねーすべての人が働きやすい職場を目指してー	華井	16.95%
2019/5/24	579	「プラトンの問題」とは？ーAI社会こそ、人間力を考える時代ー	伊庭野	19.21%
2019/5/17	578	令和時代に、企業においてAIを活用する一歩をどう作っていくか？	伊藤	15.09%
2019/5/10	577	「令和」の意味-Beautiful Harmony-を大切に！	久保田	15.83%
2019/4/26	576	グローバルに広がるワインの「多様性時代」が到来	華井	14.26%
2019/4/19	575	「経営者」に聞くー第52回KK <sup>2</sup> エキスパート・スタジオー	伊庭野	14.29%
2019/4/12	574	「AI戦略2019」で育成しようとしているAI人材とは？	伊藤	19.14%
2019/4/5	573	人前で話す機会が多い皆さん！KK <sup>2</sup> デジタルプレゼンテーションプラットフォームを使ってみませんか？	久保田	17.57%

### - 3 情報発信

#### ① Web、SNS

KK<sup>2</sup>Webサイトは、学びのサイトとして運営しており、「教育のデジタル化」の推進の場として活用しています。KK<sup>2</sup>では「KK<sup>2</sup>会場」で参加するほか、「ライブ配信」「オンデマンド視聴」で学べる機会をWeb上に用意しています。自主企画プログラムは、収録を行いWebプログラムとして公開、いつでも誰でも無料で学べる環境を提供し、現在1,500本を超える動画プログラムをWebで提供しています（無料）。スマートフォン、タブレットにも対応しています。



学習サイトとしてさらに活用いただけるように、継続的に機能面のリニューアルを行っています。

また、KK<sup>2</sup>Webサイトと連動し、より多くの方にKK<sup>2</sup>の情報をお届けするためにFacebook、YouTube等SNSでの情報発信も活用しています。なお、YouTubeでは、プログラムの一部を公開し、KK<sup>2</sup>Webサイトへの誘導を図っています。

- ・ KK<sup>2</sup>webサイト <https://www.kk2.ne.jp/>
- ・ Facebook <https://www.facebook.com/KK2kasumigaseki/>
- ・ You Tubeチャンネル <https://www.youtube.com/channel/UCTn6A9AdcTgZhlBPX4ihES>

②文部科学省メルマガ「マナビィ・メルマガ」での定期的な記事掲載

平成30年7月より、文部科学省総合教育政策局が発行する生涯学習関連情報のメルマガ「マナビィ・メルマガ」への定期的な記事掲載をさせていただいております。毎月1回メルマガで、KK<sup>2</sup>のプログラムをご紹介します。

Ⅲ コンサルティング事業

(1) システムコンサルティング業務

-1 コミュニケーションシステムコンサルティング

日本生命保険相互会社において、TV会議の画質・音質等の品質向上の検討、WEB会議・TV会議の相互接続の検討支援を昨年度に引き続き行いました。

また、DPPと合わせて、自治体や会社のテレワーク業務や遠隔社員教育、文科省が進めるGIGAスクール構想に対応できるようなコンサルティングを行うための内部勉強会や体制整備を行いました。

-2 防災情報システムコンサルティング

東京都文京区では、既設庁舎内（文京区シビックセンター）災害対策本部室のリプレースに伴う新たな防災システム再構築のための調査業務を行いました。

災害対策本部として必要な設備の他、災害時の情報収集から情報共有、情報配信管理をおこなう防災情報システムの導入も検討しました。

また、栃木県小山市では、新庁舎建設に伴う防災センターの再構築及び防災情報システム（防災行政無線、災害時情報管理システム、気象観測システム等）の更新や移設に係る調査・設計業務を行いました。小山市でも文京区同様、防災情報システム導入を検討し、提案コンペによる業者選定の支援業務を行いました。



-3 システム最適化コンサルティング

山梨県市川三郷町では、情報系ネットワーク機器の耐用年数を超える機器が出ており、情報系ネットワークの再構築に伴う最適なネットワーク環境の調査・設計及び施工監理を行いました。

また、山梨県国民健康保険団体連合会では、同団体で運用しているシステム他2システムの保守や運用経費等が定期性であるかの評価を行いました。

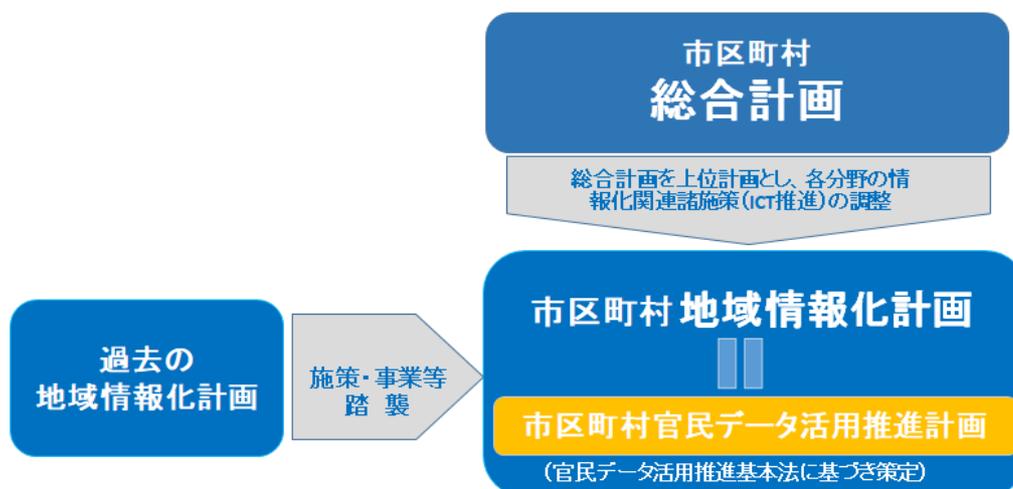
その他、山梨県上野原市では、既設光ファイバーケーブルの監理システムの更新に関して、最適なシステムと移行計画に関する調査業務を行いました。

-4 地域情報化計画策定コンサルティング

山梨県市川三郷町において、地域情報化計画の策定支援を行いました。住民アンケート、各課ヒアリングを実施し、集計・分析を行いました。本年度の分析結果等を基に、各分野における情報化施策の作成等を行います。

また、策定する計画は、「官民データ活用推進基本方法」に基づき、「官民データ活用推進計画」としても活用できる計画としています。

地域情報化計画の位置付けイメージ



## (2) ネットワークコンサルティング業務

### - 1 海底ケーブル敷設コンサルティング

東京都が計画する伊豆諸島5村6島(利島、新島、式根島、神津島、御蔵島、青ヶ島)まで海底ケーブルを敷設し、超高速ブロードバンドサービスを提供する事業において、第4期整備事業として八丈島から青ヶ島への敷設経費等を整理し、実績報告(国庫補助金)に必要な書類作成や業務支援を行いました。



<図：島々間におけるブロードバンド基盤概要図（東京都ホームページより）>

### - 2 FTTH網構築コンサルティング

山梨県上野原市において、平成16年度から平成22年度にかけて整備した光ファイバー網やONU等のCATV設備に関する現状を確認し、継続利用の可否について調査を行いました。また、各設備の技術動向や今後の設備更新に向けた費用、スケジュール等の各種検討を行い、これらを報告書として取りまとめました。

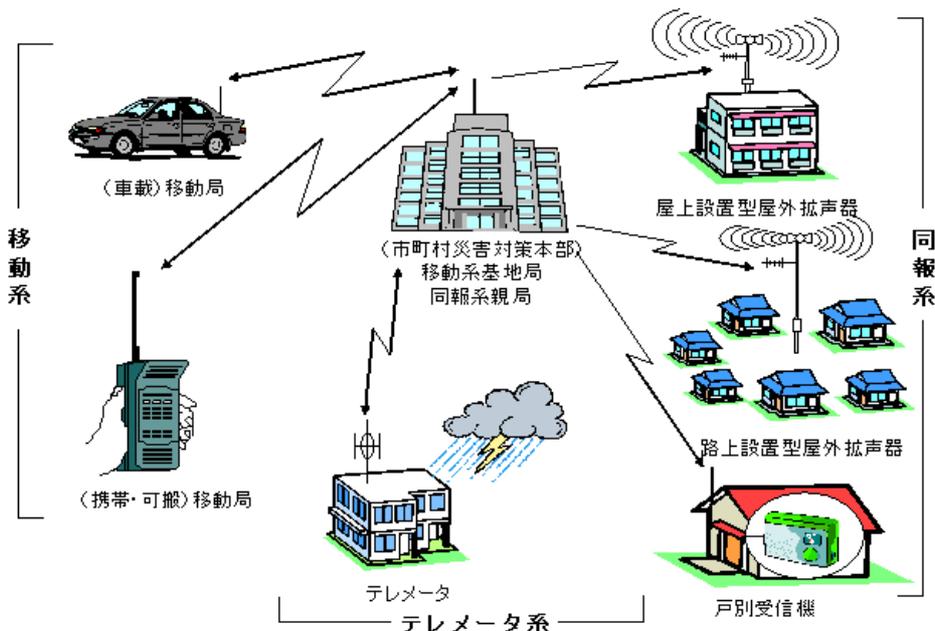
### - 3 市町村防災情報ネットワークコンサルティング

市町村の防災行政無線は、同報系システムで約8割、移動系システムで約7割の自治体が整備しています。これから防災行政無線を整備する市町村とともに、従来のアナログシステムからデジタルシステムへ移行する市町村防災行政無線の調査・設計、施工監理業務を行いました。

以下の市町村において、防災行政無線を使用した同報系・移動系ネットワークの調査・設計に係る業務を行いました。

- ① 高知県土佐清水市（同報系デジタル化の基本設計・実施設計業務）
- ② 長崎県波佐見市（同報系デジタル戸別受信機設置の設計業務）
- ③ 東京都八丈町（同報系デジタル化の実実施設計業務）
- ④ 徳島県松茂町（同報系デジタル化の実実施設計業務）
- ⑤ 北海道佐呂間町（移動系デジタル化の実実施設計業務）

- ⑥ 北海道北竜町（同報系デジタル化の実施設計業務）
- ⑦ 東京都町田市（同報系デジタル追加子局の設置検討・設計業務）
- ⑧ 高知県高知市（同報系デジタル化の実施設計業務）
- ⑨ 北海道新ひだか町（同報系デジタル化の実施設計業務）
- ⑩ 長野県高森町（移動系デジタル化の実施設計業務）
- ⑪ 東京都武蔵野市（同報系デジタル化の実施設計業務）



<図：防災行政無線イメージ図（総合通信局ホームページより）>

以下の市町村において、防災行政無線を使用した同報系・移動系ネットワーク構築の施工監理業務を行いました。

- ① 熊本県上天草市（同報系デジタル化の施工監理業務）
- ② 東京都瑞穂町（同報系デジタル化の施工監理業務）
- ③ 愛媛県八幡浜市（同報系デジタル化の施工監理業務）
- ④ 東京都北区（同報系デジタル化の追加施工監理業務）
- ⑤ 山梨県都留市（同報系デジタル化の施工監理業務）
- ⑥ 東京都あきる野市（同報系デジタル化の施工監理業務）
- ⑦ 埼玉県嵐山町（同報系デジタル化の施工監理業務）
- ⑧ 千葉県酒々井町（同報系デジタル化の施工監理業務）
- ⑨ 東京都墨田区（同報系デジタル化の施工監理業務）
- ⑩ 長野県軽井沢町（同報系デジタル化の施工監理業務）
- ⑪ 東京都足立区（同報系デジタル化の施工監理業務）
- ⑫ 長野県高山村（同報系デジタル化の施工監理業務）
- ⑬ 神奈川県三浦市（同報系デジタル化の施工監理業務）
- ⑭ 新潟県妙高市（同報系デジタル化の施工監理業務）
- ⑮ 長崎県西海市（同報系デジタル化の施工監理業務）
- ⑯ 埼玉県横瀬町（同報系デジタル化の施工監理業務）
- ⑰ 福岡県小竹町（同報系デジタル化の施工監理業務）
- ⑱ 高知県梶原町（同報系デジタル化の施工監理業務）
- ⑲ 富山県滑川市（同報系デジタル化の施工監理業務）

- ⑳ 埼玉県杉戸町（同報系デジタル化の施工監理業務）
- ㉑ 徳島県板野町（同報系デジタル化の施工監理業務）
- ㉒ 高知県安田町（同報系デジタル化の施工監理業務）
- ㉓ 北海道長沼町（同報系デジタル化の施工監理業務）
- ㉔ 東京都町田市（同報系デジタル化の施工監理業務）
- ㉕ 東京都荒川区（同報系デジタル化の施工監理業務）
- ㉖ 千葉県八千代市（同報系デジタル化の施工監理業務）
- ㉗ 茨城県潮来市（同報系デジタル化の施工監理業務）
- ㉘ 長野県木曽町（同報系・移動系デジタル化の施工監理業務）

### （３）防災無線設備劣化度調査

千葉県館山市で、既設防災行政無線の鋼管柱に対する劣化度調査を行いました。館山市では、沿岸部を中心に屋外拡声子局の鋼管柱に錆が発生し、強度不足が心配されていました。そのため、錆や老朽化が目立つ子局鋼管柱に対し、目視調査の他、塗膜の膜厚測定、柱の地際を中心に内部の超音波調査を行いました。

調査結果は、今すぐ危険な柱は無いものの、劣化の激しい柱に関しては、出来る限り早い交換を提言しました。調査実施直後、千葉県館山市を台風19号が襲いましたが、調査対象の柱で倒壊等の被害はありませんでした。

### （４）情報セキュリティコンサルティング業務（監査等）

東京都府中市において、市立の小中学校に対して情報セキュリティ監査を行いました。また、過去の監査において指摘事項だった事象を中心とした、情報セキュリティ研修も開催し、セキュリティに対するリテラシーの向上を図りました。

また、山梨県笛吹市と同県市川三郷町では、情報セキュリティ外部監査および内部監査のための監査員研修を実施しました。昨年度のフォローアップ監査の他、情報セキュリティアンケートを実施し、自己点検が行えるよう支援しています。

その他、埼玉県上尾市において、庁内のITシステムを管理する部門に対し、情報セキュリティ外部監査を行いました。



### (5) ISMS認証取得支援コンサルティング業務

静岡県国民健康保険団体連合会がISMS認証を取得するためコンサルティングを行いました。

山梨県国民健康保険団体連合会では、ISMS認証維持に係るコンサルティングを行っており、今後も同団体へのコンサルティングが期待されます。

### (6) プライバシーマーク認定審査業務

経済産業省が普及・啓蒙している、個人情報保護に関する第三者認定制度「プライバシーマーク制度」の認定について、(一財)日本情報経済社会推進協会および(一財)放送セキュリティセンターに対し、審査支援業務を行いました。

### (7) TV会議システム運用業務

独立行政法人国際協力機構（JICA）では、2017年5月まで、JICAにおけるTV会議システムの運用業務を当財団に委託してきましたが、2017年6月より5カ年間は、「国際協力機構コンピュータシステム運用等業務」の中にTV会議システム運用業務を含めた業務内容で、アクセンチュア株式会社に委託することになりました。

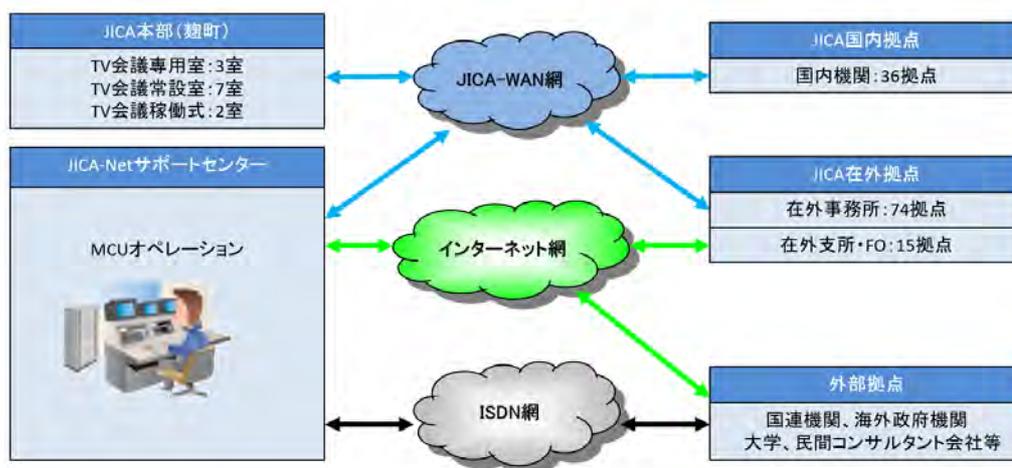
そこで、当財団では、2019年度はアクセンチュア株式会社から「TV会議システム運用業務」の部分を受託し、JICA内に業務従事者を配置し、以下のようなTV会議システム運用業務や付随する業務を行いました。

- ①TV会議予約管理業務
- ②TV会議相互接続オペレーション業務
- ③TV会議室、TV会議機器管理業務
- ④TV会議機器保守サポート業務
- ⑤TV会議グローバルヘルプデスク業務
- ⑥TV会議システム更新に伴うコンサルティング業務
- ⑦TV会議新設拠点への導入サポート業務

2019年度のTV会議実績は以下の通りです。

- ・TV会議件数：約8000件
- ・TV会議接続時間：約17000時間

TV会議システム全体概念図



## (8) 映像システムコンサルティング業務

- 1 市民劇場舞台運営・防犯用カメラ設備設計業務  
松戸市民劇場の舞台運営支援ITVカメラ設備、防犯用カメラ設備の設計業務を行いました。  
舞台運営支援システムは、映像信号に遅延が生じないSDIカメラを使用したシステムで、防犯カメラはネットワークカメラを使用したシステムとしました。  
各モニターからロビー、楽屋、舞台運営要員のオペレーションエリアに配信出来るようにしました。
  
- 2 検索システム設計業務  
日本アムウェイ合同会社本社地下1階にあるHall of Achievement（アムウェイビジネスに貢献された方々を顕彰する場）エリアにある動画、静止画、地図、テキストからディストリビュータを検索しそれらの方々の経歴、実績、活動を動画静止画で閲覧することができるシステムのソフト設計とシステム設計、レイアウト設計業務を行いました。
  
- 3 大学内映像装置設計業務  
昭和女子大学1号館7L34教室の設計・施工を行いました。  
120インチスクリーン2面にビデオプロジェクター2基から映像を投射できるようにし、ワイヤレスマイクシステムを他教室からの混信が無いデジタル方式としました。
  
- 4 デジタルサイネージシステム設計・施工業務  
松戸市文化会館（森のホール21）館内にある館内案内、催し物案内、当日スケジュール等を表示するデジタルサイネージシステムのリニューアルに伴う設計施工を行いました。

## (9) 映像システム保守管理業務

以下の公共施設、学校、企業等に設置されている映像情報システムを対象に、システムの保守管理業務や運用業務の支援を行いました。

- ① 千葉県松戸市文化会館映像配信システム  
松戸市文化会館「森のホール21」の館内案内や催し物スケジュール等の情報を提示する館内デジタルサイネージシステム。
  
- ② 千葉県松戸市生涯学習情報提供システム(まつどまなびいネット)  
松戸市内の文化系・スポーツ系・青少年のサークル・グループ（社会教育関係団体・青少年団体・自主企画団体）や生涯学習支援ボランティア等の情報を登録できる、松戸市がインターネット上に開設した情報サイト。
  
- ③ 千葉県松戸市文化ホール社会教育推進関連機器  
松戸市文化ホールの講座室に設置している映像音響システム、文化ホール内LANや電子黒板システム。
  
- ④ 学校法人昭和女子大学AVシステム  
昭和女子大学のオーロラホール、コスモホール、階段教室、各種教室及び体育館に設置している映像音響システム。

- ⑤ 学校法人松本歯科大学 A Vシステム  
松本歯科大学の大小会議室や大小教室に設置している映像音響システム、ラウンジ情報案内サイネージシステムや防犯カメラシステム。
- ⑥ 学校法人愛知大学東京霞が関オフィス情報システム  
愛知大学東京霞が関オフィスに設置しているパソコン等情報機器。
- ⑦ 日本アムウェイ合同会社本社 A Vシステム  
日本アムウェイ本社のオーデトリウム、ボードルーム、役員会議室、アムウェイプラザ、各セミナー室及び各会議室に設置している映像音響システム。
- ⑧ 日本アムウェイ合同会社地方プラザ（全国 8 ヶ所） A Vシステム  
日本アムウェイ地方プラザ（札幌2カ所、仙台、横浜、名古屋、大阪、広島、福岡）のショールームやセミナー室に設置している映像音響システム。

## VI 運営に関する事項

### (1) 役員等名簿

理事長	久保田了司	当財団代表理事	
常務理事	久保田庸弘	当財団業務執行理事	
理事	清水 康敬	東京工業大学 名誉教授	
	永岡 慶三	早稲田大学 名誉教授	
	伊東信一郎	ANAホールディングス(株) 取締役会長	
	正殿 博章	ニッセイ保険エージェンシー(株) 前代表取締役会長	
	佐野 元昭	(株) ケイ・アイ・エス 情報科学研究所 代表取締役社長	
	伊庭野基明	グローバルキャリアカウンセラービジネスコーチ	
	馬場 弘子	(株) サンカントサンク 代表取締役	
	田中 純一	(一社) ビル減災研究所 代表理事	
	監事	鈴木 重文	弁護士
	評議員	米里 文明	(株) インフィニタルインフォメーション 元代表取締役社長
稲葉 徹		センクシア(株) アドバイザー	
大串 夏身		昭和女子大学 名誉教授	
唐澤 誠		(株) 唐澤誠建築音響設計事務所 代表取締役	
近藤 孝夫		(株) 同学社 代表取締役	
野田 弘子		プロビティコンサルティング(株) 代表	

### (2) 会議等の開催

#### -1 第1回理事会(通常)

開催日：令和元年6月4日

開催場所：霞が関ナレッジスクエア

主な議題：平成30年度事業報告・決算報告

(株)メディアリンクとの業務委託実績

#### -2 第1回運営委員会(定例)

開催日：令和元年6月19日

開催場所：霞が関ナレッジスクエア

主な議題：平成30年度事業報告

-3 第1回評議員会（定時）

開催日：令和元年6月27日  
開催場所：霞が関ナレッジスクエア  
主な議題：平成30年度事業報告・決算報告  
          (株)メディアリンクとの業務委託実績

-4 第2回運営委員会（定例）

開催日：令和元年12月18日  
開催場所：霞が関ナレッジスクエア  
主な議題：令和元年度上期事業報告

-5 第2回理事会（通常）

開催日：令和2年3月6日  
開催場所：霞が関ナレッジスクエア  
主な議題：令和2年度事業計画・収支予算  
          (株)メディアリンクとの業務委託予定

(3) 会員等（令和2年3月）

賛助会員	40 団体
協賛メンバー	29 団体
法人メンバー	4 団体
Web会員	14,580 名

**【令和元年度事業報告の附属明細書について】**

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する事業報告の附属明細書として記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。